海洋土木工学科

1. 教 育 目 標

海洋土木工学科は、海洋学と土木工学に関する専門教育を行って、海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学の知識と判断力および高い倫理観を有する技術者を育成することを目的とする。

海洋土木工学科で取り扱う教育・研究の範囲は、通常の陸上および海岸の他に、着底型のような構造物の構築が可能な大陸棚以浅の海洋の領域での土木工学に関わる諸問題を対象としている。従って、従来の海洋学、土木工学の基礎教育を行うことによって海に深い理解を有する人材の育成を目指すと共に、ソフト面およびシステム面に対する物の見方や考え方ができるエンジニアを育成するための教育を行う。

具体的には、最新の海洋開発技術を支える計画・設計・施工・管理に関する専門科目、その基礎となる工学基礎科目を学ぶことになる。それと同時に、周辺の自然環境の保全、地域の文化や景観との調和、自然災害の防止などの社会が要請する問題を工学的視点から解決できるデザイン能力を養成する。現代社会の高度情報化、国際化といった動きを踏まえ、時代の要請に応えうる豊かな環境意識と高い倫理観を持った技術者を育成するために、以下に本学科の教育目標を掲げる。

教育目標

[A] 人類の幸福と福祉について考えることのできる素養の養成
[B] エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる基本的素養の養成
[C] 国際的なコミュニケーション能力の養成
[D] 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識の充実
[E] 土木工学の基礎知識を柔軟に適用できる応用力とデザイン能力の養成
[F] 海洋環境の開発と保全について総合的判断を行う能力の養成
[G] 調査・討論・発表などを通じて、自ら課題を発見し、それを解決できる能力の養成
[H] 卒業後も主体的に学習を継続できる能力の養成

2. 専門科目の位置付け

海洋土木工学科では、上に掲げた教育目標を実現するために、1）共通教育科目（外国語を含む)、2）基礎教育科目、3）専門教育科目から構成される教育カリキュラムが作られている。共通教育科目ならびに基礎教育科目については、共通教育履修案内および共通教育授業科目概要を参照することにし、以下に専門教育について述べる。

専門教育科目

専門教育科目は、工学一般に対する基礎学力の養成を目的とした「工学基礎科目」と海洋土木工学に関する「専門科目」からなる。さらに、これらの科目は、必修科目、選択科目 A 群、選択科目 B 群、選択科目 C 群、選択科目 D 群に区分されている。また、他学部・他学科の科目も履修できる（進級・卒業要件一覧表参照)。

① 必修科目

工学基礎科目と専門科目からなる。工学基礎科目は、工業数学、海洋学総論、材料力学基礎の内容を含む４科目（１０単位）であり、専門科目は、構造力学、土質力学、コンクリート工学、水理学、海岸工学、沿岸環境学、海洋物理学などの内容を含む２２科目と卒業論文の計２３科目（４７単位）からなる。これらの必修科目は、土木工学における主要分野の知識を充実させるとともに、海洋環境の開発と保全について総合的な判断を行う能力を養成することを目的としている。なお、本学科の教育カリキュラムの中でも特徴的な以下の科目については、関連の強い本学科の教育目標と併せて説明を加えておく。